

緑 化 通 信

2020
10月25日
(年7回25日発行)
第482号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03) 3586-7361 FAX.(03) 3586-7577
URL : <http://www.ueki.or.jp/>
E-mail : honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

(一社) 日本植木協会

令和2年度 都道府県別緑化樹木 供給可能量調査 結果報告

(一財) 日本緑化センター 瀧 邦夫

【調査結果の概要】

2020年度の供給可能量は4,362万本となり、対2019年度比4.559万本(95.7%)と2年続けて減少している。形態別内訳は、グラウンドカバープランツ(GCP)が最も多く全体のおおむね半数(48.4%)、次にコンテナ樹木がおよそ5分の1の20.7%、3番目に低木常緑樹が19.1%の順となり、コンテナ樹木シェアの第2位は2017年度以降安定している(図-1)。露地栽培物のシェアは31.2%に対し、コンテナ栽培物のシェアは68.8%、ほぼ3対7となっている。

高木本数の形態別内訳は、常緑広葉樹5、落葉広葉樹3、針葉樹2の割合となる。主な形態について種類別の内訳をみると、GCPではタマリユウ48.2万鉢、シバザクラ類28.9万鉢(同13.7%)、コグマザサ11.5万鉢(同5.4%)の構成となる。コンテナ樹木は、Chamaefilipheila・オーレア51万鉢(コンテナ樹木全体の5.7%)、オタフクナンテン49万鉢(同5.4%)、シャリンバイ44万鉢(同4.9%)が上位を占めている。

低木常緑樹ではサツキ31.8万本(低木常緑樹全体の38.2%)、オオムラサキツツジ120万本(同14.4%)、ヒラドツツジ11.9万本(同14.3%)が上位3樹種を構成している。サツキは2018年度まで7年間400万本台を維持していたが、昨年度から300万本台の水準に落ち込んでいる。

「建設工事施工統計調査」(国土交通省)によると、2018年度の造園工事完成工事高は4,276億円、前年度比6.3%の増加となっている。このうち、造園工事業者が元請で受注している金額は2,207億円と前年度に比べ2割以上(20.9%)の大幅な増加となり、総合工事全体で3.2%の増、その中で造園工事業は突出した伸び率を示す。最近10年間で

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

「建設工事施工統計調査」(国土交通省)によると、2018年度の造園工事完成工事高は4,276億円、前年度比6.3%の増加となっている。このうち、造園工事業者が元請で受注している金額は2,207億円と前年度に比べ2割以上(20.9%)の大幅な増加となり、総合工事全体で3.2%の増、その中で造園工事業は突出した伸び率を示す。最近10年間で

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

は4千億円(台)を維持している。元請比率は51.6%を占め、前年度に比べ6.2ポイント上昇し、7年続いた減少からようやく増加に転じている。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

また、2018年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,020億円(46.2%)、民間は1,187億円(53.8%)となり、昨年度両部門ともに落ち込んだが、ふたたび一千万円台に回復している(図-3)。

図-1 形態別の供給可能量 (単位:千本・鉢)
[2020年度:43,619千本・鉢]

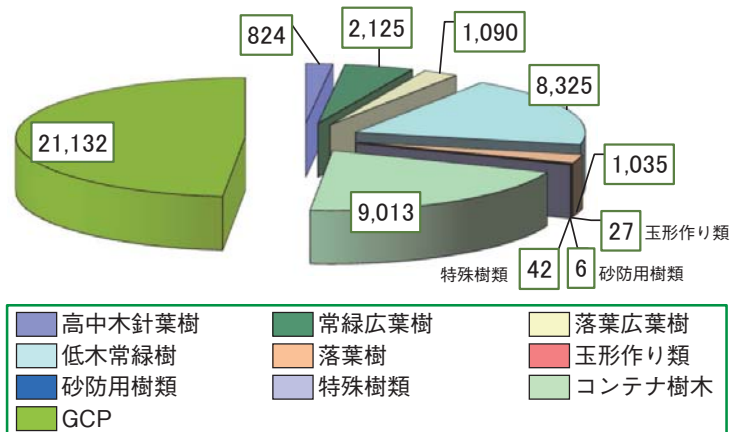


図-2 露地・コンテナ栽培の推移(単位:千本・鉢)

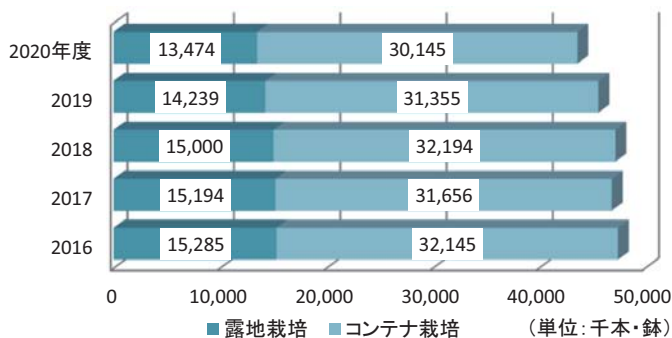
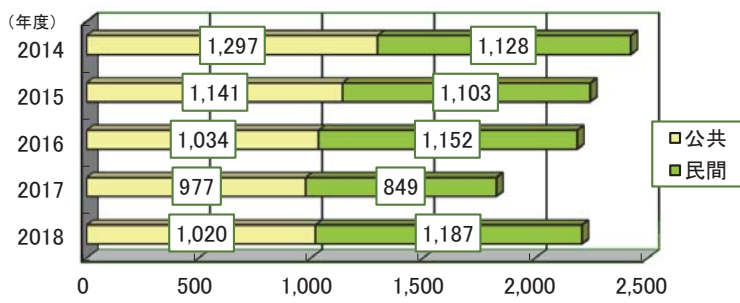


図-3 発注者別元請完成工事高の推移(単位:億円)



変更

コンテナ部会
総会のご案内
文章総会

(一社)日本植木協会

令和3年度通常総会
開催のご案内

開催日 令和3年1月21日(木)
ホテルメトロポリタン仙台

コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カンシノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど

(株)瀬戸内園芸センター



愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
<http://www.setoen.com/> E-mail : setouchi@setoen.com

連絡調整会議を開催

コロナ禍の影響により延期されていた連絡調整会議が8月21日(金)13時から協会・会議室及びリモートにより、会長、副会長、部会担当理事、ブロック長、専門部会長(含青年部会長)及び事務局が参加して開催されました。

六倉会長の挨拶、参加者からの自己紹介のあと、佐久副会長が議長を務め議事を進めました。

会議では、各ブロック、部会から活動報告があり、意見・要望に対しては次のとおりです。

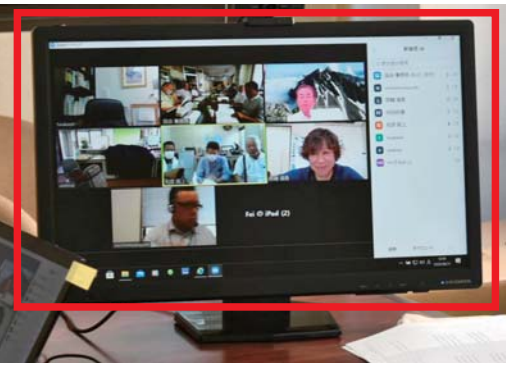
なお、同様の質問と思われるものの回答につきましては、まとめさせていただいております。

1 ブロックの意見、要望

【関東・甲信越ブロック】

(1) 建設物価調査会などに取引数量の変更を要望したい。

(2) 輸送コストが上がり現場持ち込み価格と数量にかな



が、植木生産者にはどのようなものがあるのか、またその案内等を協会員にPRをお願いしたい。

(7) 協会顧問を応援しているが、政治パーティー参加の割り当ては再考して欲しい。

(8) 「志公会」への参加の割り当て人数を減らして欲しい。

(9) 支部会・支部役員会等、今期はコロナウィルスの影響で開催できないでいる。協会としてどのように対応するか方向性を示して頂きたい。

(10) テレビ会議への将来的な移行を検討してもらいたい。

との意見・要望に対し

として

(1) 建設物価及び積算資料の記載はご指摘のとおりです。

(2) 現状と輸送コストなどの上昇等により実態にそぐわない状況であれば、関係各所と相談していきたく考えます。

(3) 各社園さんにより、長年に亘ってのお付き合いや社

園さんの状況等に違いがあることから、一本化は難しい状況と考えます。

(4) 相談・問合せ窓口等が協会員にありまうと、協会の運営が行いやすいと考えますが、運営に関する課題もあり相談・問い合わせ

は、各省庁の担当部署に問い合わせるのが有効な方法と考えます。

(5) 協会が主体となって若い設計者等を育成するのは、難しい状況と考えま

す。協会が直接育成するのはなく、全国各地に登録されている卓越技能者及び優秀技能者の方々のお力をかり、社園さんどうしのつながりの中で育成していくのも一つの方法と考えま

す。

(6) 2027年に横浜市で開催予定の国際園芸博覧会については、令和元年9月の国際園芸博覧会協会総会において開催が承認されま

した。農林水産省等と緊密に連携を取り情報の収集に努めていくとともに、日造協や日本花き生産協会等の関連団体とも情報交換を行っていきたく考えま

す。また、石巻の復興や浜名湖博等の対応を参考としていきたく思います。

(7) 農業用機械が対象となる補助金があるようですが、補助事業の概要書を見る限り指定機関からの融資を受け、購入できる機械等も汎用性の高いものではないこと等の条件が付いているようです。

(8) 政治パーティーは、主に東京都内で開催されるこ

とから、関東・甲信越ブロックの会員にお願いしている状況で、ご負担をお願いしてはおりません。今後、参加者の数等を含めて割り当て等について検討していか

なければならぬと考えま

す。

(9) 上記のでも記載しましたが、「志公会」について

も同様であり、今後、参加者の数等を含めて割り当て等について検討していか

なければならぬと考えま

す。

(10) 新型コロナウィルスの終息が見えない中で、協会運営に大きな影響をおよぼしてはいますが、これに対応する「これ」といったものが

ない状況です。

その様な中で、リモート会議は一つの手段として有効と考え、今後、これを利

用した会議等の充実を図っていかねばならないと考え

ます。

(11) コロナ禍による注目されるリモート会議ですが、既に取り組んでいる委員会や部会等もあります。今

後、旅費交通費の削減等からリモート会議を推進して

いくものと考えられます。

しかし、現状ではすべての会議をリモート会議で行うことは難しいと考えられることから、準備が整ったものから行っていくこととし

ていくことしたいと考え

ます。

【中部ブロック】

(1) 樹種識別検定試験につ

いて中部地区での開催希望あり。(過去に稲沢植木セ

ンターにて開催)

(2) 新型コロナウィルス感

染予防の観点から、リモート会議の積極的な開催取組

みを行うことにより交通費の削減と時間の有効活用が

出来ると思われる。

(3) コロナ禍の状況で、支

部・ブロック・各部会にお

いてしばらくの間、研修会や講習会等の開催を行

えない状況だと思ひます。他の業界ではオンラインで開

催出来るZoomを活用されて

います。何か参考となる事例があれば情報収集し、緑化通信やHPにて案内願ひます。

地方開催とし地元会員との交流親睦の場を設けて頂く事は可能でしょうか？(親睦を深められる事業では)

(6) 施設や資材等の購入時に使用可能な補助金等がある

場合は案内願ひします。

との意見・要望に対し

して

(1) 過去に開催したことも

あり、前向きに検討して

きたい。しかし、受験希望者数や新型コロナウィルス

のこともあり、十分に打ち

合わせを行っていき

たい。

(2) ご指摘のとおり各種委員会や講習会等の開催を行

えない状況だと思ひます。他の業界ではオンラインで開

催出来るZoomを活用されて

います。何か参考となる事例があれば情報収集し、緑化通信やHPにて案内願ひます。

【関西ブロック】

スにより甚大な影響が植木業界にも出ています。これに対する植木協会の対応策をお聞かせください。

(2) 当協会の一部部会に於いて、Zoomによるネット会議が行われています。

今後このような取り組みは、推進されるべきだと考え

ます。執行部としてのお考えをお聞かせください。

(3) 経費の削減について

は、毎年削減がなされて

いると思ひます。一方、毎

年の事業報告書では、各事業の各種議事録を見ても理事

会等に正式な議題としてあ

がっていないと認識してお

ります。理事会等に正式な

議題として提案していき

たいと考え

ます。

【中国・四国ブロック】

(1) 昨年、理事会の決定と違

う形で地域性植物適用委員会に予算をつける形になったことについて、今年

の総会を経てるので問題はないのですが、詳しい説明をしてほしかった。緑化

通信にも記載された内容と違

う形になったことについて

です。

今後、理事会で決定されたこと

の重み、などどうなるのか？

との意見・要望に対し

して

当協会を運営していく上

での最高意思決定機関は総

会ですが、理事会はそれに

続く意思決定機関であり、

理事会の決定を無視しての

協会運営はないと考えま

す。

法等について検討していき

たいと考え

ます。

【九州ブロック】

(1) 新型コロナの影響の

為、協会の動きや情報が

入ってこないようですが、

今後どのような対応に進

めていくのか？

(2) 協会の会議をウェブ

会議にした

旅費交通費を削減し、予

算を事業に有意義に使う。

(3) YouTube等で植

物の栽培、管理等の発信

行っています。

植物に関心を持つ人を増

やす。(ホームページを一

般向けに充実させる)

(4) 準会員制度の復活

協会活動が人員不足のた

めに、活動に制約が出て

る。

(5) 生産圃場から出る不要

な根株、樹木の処理方法に

ついて

(6) 材料検査時の写真提出

の有料化について

(7) 一年以上先の納品に

は、手付金制度の導入。

材料不足の為、他社より

早くから仮押さえをする物

件が増えてきています。

最近、自然災害も多く納

品までの期間が長いと維持

管理に経費もかかり、災害

で樹木が使えなくなった場

合生産者に負担が全いく

ので、手付金制度を導入

し、自然災害で使えなく

なった場合は生産者に手付

金を渡してはどうでしょ

う。

との意見・要望に対し

して

今後、理事会での決定事

項、その結果等及び伝達方

法等について検討していき

 日本列島植木植物園
ナショナルプランツ コレクション*

問(株)小金井園 吉澤信行 ☎042-384-2251
www.koganeien.co.jp

リコリス・スプレングェリ *Lycoris sprengeri*

ヒガンバナ科ヒガンバナ属 中国原産

花は、8月下旬から9月上旬 ナツズイセンをやや小ぶりにしたピンクの花被片にブルーの筋が入るが個体差がある。
よく結実し葉は春に出る。



リコリス・キネンシス *Lycoris chinensis*

ヒガンバナ科ヒガンバナ属

中国原产

花は、9月上旬。ヒガンバナより大きく、オレンジがかった黄色。葉は春に出る。



フシグロセンノウ *Lychnis miqueliana*

ナデシコ科センノウ属 日本原産

盛夏から初秋に林地になどでオレンジ色の花を咲かせる。
花が少ない環境なのでよく目立つ。



マルバダケブキ *Ligularia dentata*

キク科メタカラコウ属 日本原産

夏の高原や樹林地の草原でツワブキに似た花をつける。
名前は、岳（タケ）のフキ、葉が丸く大きいので見た目そのままである。



この夏、南アルプスの甘利山に行った。春には、アヤメなどが咲く花の山として親しまれている。だが最近は、ニホンジカの食害で草原のお花畑も貧弱になっている。そんな中このマルバダケブキだけが存在感を放っていた。山から林道を車で下っていると道路脇のオレンジ色が目に入った。夏の樹林帯の色彩変化のないほの暗い中に、この花を見つけるとドキッとする。

今年の猛暑は、植物の生理も狂わせる。ヒガンバナ（リコリス）の仲間は夏の最高気温が出てからしばらくたって伸び始める。今年はヒガンバナも咲きだしが遅れている。ここで紹介した2種は、ヒガンバナより早くまだ残暑のうちに咲き出す。中でも、スプレングリは他のリコリスにない青色を持っていて、種子も付けるので交配親に有望と思う。

※ナショナルブランド コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。

緑 化 通 信

して

① 新型コロナウイルスの
関係から、一部事業を除い
て各種事業は延期または中
止となっている状況です。
今後、発生状況等を勘案し
ながら、各委員会及び各部
会と相談を行いつつ事業を
進めて行きたいと考えま
す。

会費につきましては、現
状のままとさせていただき
ます。

② 新型コロナウイルスの
影響により、各委員会及び
部会がリモート会議により
実施されてきていることか
ら、旅費交通費の支出が例
年より減となっている状況
です。

しかし、今後実施する予
定である事業がどれだけ実
施出来るのか、また現状で
減となっている旅費交通費
をどれだけ他項目（事業）

に回すことが出来るのか等不透明であること等もあり、今後事業の進捗等を勘案しながら、実施していきたいと思います。

なお、現状ではすべての③ 協会の情報発信についてはHPが有力なPRツールであることから、内容等の充実は課題と考えます。YouTube等で植物の栽培、管理等の発信を行っていくことは貴重なご意見と考えますが、管理等の課題もあり今後の検討課題と考えます。

④ 準会員制度については、昭和55年に発足され、平成6年まで存続しており、平成6年まで存続しておりました。制度を廃止した経

緯については、多々の問題が生じたためと聞いており、制度を復活させるのであれば、問題点の抽出など慎重に検討していく必要があると考えます。

⑤ 環境省廃棄物規制課に問い合せたところ、大枠は環境省において定めているので、詳細は各都道府県の権限となっているので、当該都道府県に確認してほしい。とのことであり、各都道府県担当課にお問い合わせいただく。

⑥及び⑦ 各社園さんにより、長年に亘ってのお付き合いや社園さんの状況等に違いがあることから、一本化は難しい状況と考えます。

2 部会の要望 意見

【青年部会】

(1) 青年部員減少のため、ブロック統合をし、現在4ブロックで活動しているま

す。親会に入っている会員の子弟に、後継者育成のためとして、ぜひとも青年部にも入部してもらうよう積極的に働きかけて欲しい。

(2) 青年部会からの要望・意見助成金を増額していたが、昨年度も退会者が19名おり、それでも入会者が9名おりました。今後の青年部会としての活動が厳しい状況にあるため、さらに助成金を増やしていたきたい。

(3) 今回、コロナ禍の中で青年部幹事会では、オンライン会議を導入していきました。色々と最初は戸惑いもしましたが、現状集まらない状況下では、一番有力な会議方法だと感じました。これから親会や他部会なども活用して下さい。

青年部は、自粛お願いをしていた時期には、ブロック

や支部でもオンライン会議を活用していました。

(4) 1月に親会の通常総会を開催するに当たり、どのような形式で総会を開催するかをお教え頂きたいです。青年部会では来年2月に通常総会（大阪を予定）を行います。開催するに当たり、通常通り開催するのでしょうか？

(一) ソーシャルディスタンスの形式をとるか？

(二) 総会は開催し、懇親会は無しにするか？

(三) オンライン総会か？

との意見・要望に對しまして

① 青年部への入会については、強制することまではできませんが、会員が集まる機会を利用して、入会をお願いしていきたい。

② これからの協会を背負っていく青年部の活動・

育成は重要と考えており、助成増額要望については理事会の議題として取り上げることとします。

③及び④ 年に1回の総会であり、毎年と同様の開催を目指していますが、全国的な増加傾向にあるコロナ禍の話もあり、結論が出ていない状況です。

【コンテナ部会】

(1) 一般社団法人が実施できる収益事業で、助成金対象の調査事業受託を行い、厳しい協会財政の一助としてどうか。調査事業は部会、ブロック単位に下げれば充分可能と考えます。検討をお願いします。

(2) 生産者として困ることの一つに予約品や確保品のキャンセル、大幅な数量変更があります。この要因として、発注者側が生産者や卸業者に被害のあることを

認識していないため、概算数量で予約して発注時に変更、という事が行われていると考えられます。そこで、協会全体としてなんとかこの問題を減らしていく事が出来ないでしょうか。

との意見・要望に對しまして

① 現在のところ収入面から考えると十分なものとはいえませんが、助成金対象となる事業及び受託事業の事業を行っているかどうかです。

② 既に同様のことが出されていましたが、各社園さんにより、長年に亘ってのお付き合いや社園さんの状況等に違いがあることから、一本化は難しい状況と考えます。

【新樹種部会】

(1) 環境省みどり香のまちづくりへの企画コンテストの

件

(2) 総会について

(3) 会費について

との意見・要望に対しまして

① 要望打診を受けて3年目となりますが、新樹種部会に迷惑のかからないようにしたいと考えております。

② 幣部会の総会は、もし協会本体の総会が書面決議になった場合には準ずる事が想定されます。準備もあるかと思いますが、早めの通知をお願いいたします。

③ コロナ禍により、止む無く事業の中止や縮小が目込まれ、他団体同様に会費の減額や免除を予定する場合には幣部会も準じますので、こちらも早めの通知を願います。

●一年生イネ科雑草から
一年生広葉雑草まで幅広く防除する

販売: **ISK** 石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号
ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>



このQRコードを読み取り、
スマートフォンまたはパソコンで
アクセスすると、
最新の製品情報や
お問い合わせ先が
すぐわかります。



®は登録商標



UPL
OpenAg

日本芝に使える除草剤

農林水産省登録
第24186号

ガーデン アージラン® 液剤

●一年生イネ科雑草から
一年生広葉雑草まで幅広く防除する



販売:  石原バイオサイエンス株式会社

〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号

ホームページ アドレス <http://ibj.iskweb.co.jp>



®は登録商標

シリーズ 社園さん紹介

No.2

インタビュー

高橋緑化園
(神奈川県藤沢市)

社長の高橋忠雄さんと専務の竜也さん

その時代、時代に沿って営まれている高橋緑化園さんをご紹介します。

公務員から転職し、植木屋を始めたという社長の高橋忠雄さん。常に時代のニーズを読み、柔軟に対応してきたからこそ、ここまで築き上げられたのでしょう。これからはネットにも対応していかなければいけないと貴重な経営論を語ってくれました。

当時、「これからは緑化産業だ!」と思い、公務員から転職して植木屋さんを始めた。

「私は昭和48年のオイルショックまで藤沢市の職員をしていました。当時は、いわゆる高度経済成長から安定成長期に入り景気も上向きで、これからは緑化産業が伸びる!と、思い切って転職しました。次の年には税務署へ“植木屋”と届を出して生産と卸を始めました。もともと実家が農家だったので木を植える農地はあったのですが、公共緑化、道路緑化、都市緑化、工場の緑化が、急激に伸びた時に、ちょうど植木屋を始められた事はラッキーだった」という。社長の高橋忠雄さんは、時代を敏感に読んで行動したからこそ緑化の波にも乗ることができたのでしょう。事務所には、平成3年に受賞された全国緑化樹木生産経営コンクールの林野庁長官賞の賞状が飾られてありました。



高橋忠雄さん

海外の莫大な規模の生産者に圧倒された。工事まで一本化。

「もちろん公務員を辞めた当時は、まったく植木の知識が無かったので、とにかく植木協会等が企画する研修や視察には、全て参加しました。国内はもちろん、アメリカやヨーロッパの大型農場の視察にも行きました。とにかく海外は規模が莫大で、一貫して生産から造園まで、カタログ販売と全てを1社が行っていました。日本は生産者、卸の仲介、造園会社といくつにも専門が分かれているけど、海外は1本化。日本も将来的には1本化になるかもしれない。実際、小売店は淘汰されてきて、大規模な一本化に近づいている」という。

「また、当時、日本は武家屋敷の日本庭園や、公園でも木が植えてある程度の緑化だったので、海外のヘデラヘリックス等のグランドカバーが使用された公園緑化は、斬新で刺激を受けましたね。それから徐々に日本にもグランドカバーが入ってきて、今では緑化の主流になった」と当時を振り返って話してくれました。

今は公共緑化より、民間緑化が伸びている。時代に合った商売をしなくちゃだめ。

「昔と違って今は公共緑化に替わって、住宅関係のマンションや戸建て、ホテルや高級老人施設や病院の民間緑化が伸びています。今の時代でも鎌倉や逗子には、緑を沢山使った高級別荘を建てる人は多いんです。お金のあるところにはあるんだよ」と、笑わせてくれました。

「今は、そういう設計の中には大木はなく、3、4メートル以下の樹木が主流です。お客さんに立派な大木を見せても「すごいですね」で、終わってしまっただけで日本では売れにくくなっている。お客さんが希望する今の主流の品種やサイズの木を持っていないといけない。主流が変われば、おのずと持っている植木も変わらないといけない」という。

時代とともに緑化の在り方が変わってきている。温暖化で需要の植木も変わってきた。

「最近昔に比べて気温が高くなってきて、関東でも南国の植木も育つので、需要の植木も変わってきました。以前は冬に寒さで茶色く傷んでしまったシマトネリコやヤシ類などの南国系の植物も今は上手く育つので、造園設計の中にも多くなってきたんです。また、一つの植物を見ても、昔はグリーン一色だったのに、今は銀色だったり、斑入りも白や黄色の色の指定、外側や内側の斑入りと細かい要求をされる需要が増えてきた。それに対応するのは大変だが、最近では、植木を運搬して巡回するトラック便が全国的にあるので、少ない量でもトラック便に依頼すれば仕入れが可能。距離の問題ではなくなっている」と植木を取り巻く商売も変化してきていることも教えてくれました。



広い圃場

時代にそって、これからの経営者はネットに精通していないといけない。



今の時代は分かり易くて早い見積もり。



「お客さんから細かい指定を要求されるから、対外的にも分かり易い写真付きのホームページやネットが必要です。見積もりでも写真と一緒に見れるから、お客さんも納得して買ってくれる」という。買い手も売り手も、写真があると一目瞭然で早いし、クレームにも繋がらないということでした。ネットを使いこなすのは息子の竜也さん。今は仕入れも販売も写真を付けてパソコンに保存してあるから、竜也さんがいない時でもすぐパソコンを見れば経営状態も判断できると言う。



コロナ禍で個人消費も変わってきた。ホームページを見たと直接買いに来る。



「最近ではHPを見たと言って、直接、芝を買いに来るお客が増え、ついでに植木を3、4本買って自宅の庭を自分で整備したいという方が目立ってきました。芝の需要も増え、夏場は維持が大変だが、大型冷蔵庫を活用しているという。以前は、個人客は造園屋を通して庭の手入れをしていたけど、コロナ禍の時間の余裕からか、自分の好みの庭を作ろうと直接購入をするという個人消費のスタイルも変わってきました」と教えてくれました。

そして、お嫁さんのお手製の畑の所在地図を見せてくれました。「畑には一本一本簡易的な樹名板が付けてあるから、造園屋さんでも素人のお客さんが来ても、誰でも何の木か分かるようにしています。各々に違う色テープを渡し、欲しい木に色テープで印をつけてもらって後からメールで見積もりをしています。やっぱりネット社会だね」と社長がおっしゃいました。



それぞれのお客さんに色の違うテープで欲しいものに印を付けてもらって、後日見積もり。



専務の竜也さんも10年企業勤めをして後を継いだ。

いつの時代もニーズに合わせた経営を。

今は10年間企業に勤めた経緯のある息子の竜也さんに経営は任せて、忠雄さんはあくまでも助言者という。「俺が経営の中心にいないといけない」と、最近経営は竜也さんに代替わりをしたという。協会が掲げていた日本列島植木植物園の構図と同じではないが、「やはり海外のような大型売一本化店に近づぐために、時代のニーズに合わせた経営をしていこうと思います」とお二人で話してくれました。



植木屋の仕事は、人間本来の仕事のやり方

帰りは2代目の竜也さんに圃場を見せてもらいながら、駅まで送ってもらいました。竜也さんが車中で、「植木屋の仕事は、朝から働いて日が沈むと家に帰る。家族とご飯を食べる。暑い日も寒い日も汗をかいて働く。10年間ビルの中でサラリーマンを経験したからかもしれないけど、今の植木屋の仕事が、人間本来の仕事のやり方だと思う」と、おっしゃった言葉が胸に染みました。



一気に飲んでしまった奥様お手製のシソジュースは、本当に美味しかったです。甘いスイカも。ご馳走様でした。



従業員さんにもあげて喜ばれている自家製野菜。ステキな福利厚生ですね。



いつも従業員さんと遊んでもらっている福助くん

第13回みどり香るまちづくり企画コンテスト入賞
香川県都市公園坂出緩衝緑地

暑さに負けないみどり香る花々

指定管理者 五栄海陸工業(株) 所長 田辺 剛久

毎年のように繰り返す発
生する豪雨、強風。近年の
日本各地で起こる異常気象
は、年々、激しくなってい
ます。自然と向き合いなが
ら都市公園の管理を行う私
共にとっても、経験以上の
厳しい事が増えてきまし
た。「今は与えられた試練
のとき」と考え、常に前を
向いて全スタッフで業務を
遂行しております。

私共が管理しております

『坂出緩衝緑地』がある香
川県坂出（さかいで）市は
晴れの日が多く、非常に雨
の少ない地域です。今年の
夏は7月に雨の日が続いた
後、8月に入ってからほぼ
とんど雨が降らず、降雨量
〇〇の雨が21日間続くな
ど、毎日のように灌水作業
に追われる状況でした。

ところが、萎れた植物に
順番に水やりをしていく
中、全く萎れず水やりの必
要がなかった箇所がありま
した。それは昨年10月に植
え込んだ「第13回みどり香
るまちづくり企画コンテス



ティアの総勢60
名で園内8ヶ所
にキンモクセイ
やシンチョウウ
ゲ、スイセンな
ど15種類を植え
込みました。そ
の新しく植えた
樹木のほとんど
が、猛暑・渇水
の中でも青々と



思います。
地管理に繋げていきたいと
思っています。
人々の憩いの場を維持・
発展させていく為に、樹木
の生育状況をよく観察し
て、その気付きを今後の緑
地管理に繋げていきたいと
思っています。

ト」にて入賞した『香りと
学びの番の州公園』の樹木
群です。



した葉のまま
でした。
いつまで耐
えられるのだ
ろうと観察を
続けておりま
したが、他へ
の灌水作業が
スタートした
8月3日から
遅れること22
日目の8月25
日に初めて灌

水をしました。
園内はアキニレ等の高木
が植栽されており、半日陰
の場所が多い事や、木材
チップを各箇所に敷き均し
たことなども奏効したのか
もしれません。さらに、樹
木医のアドバイスで土壌改
良法に拘ったことも大き
かったのではないかとと思
われます。

番の州公園は「坂出緩衝
緑地」の中の一つであり、
その園内に点在する地元の
昔話が描かれたパネル付近
に香りのする樹木や草花を
植付けて、地域の民話を読
みつつ花の香りを楽しんで
もらおうと企画しました。

R元年10月16日に「特定
非営利活動法人 香川のみ
どりを育む会（略称：N
POのみほ）会員の植込み
指導のもと、地元小学5年
生、県内ボラン

番の州公園は花崗土を使
用した埋め立て地である
為、植物が順調に生育しに
くい土をしております。市
内の一般家庭から回収した

この偶然耳にした親子の
会話は、これまで指定管理
者として取り組んできたこ
とがちゃんと利用者にも伝
わっていると感じさせてく
れるものでした。

古土を再利用し、数種類の
有機質を混入し、より深く
耕運するという心を掛け
ました。その結果が顕著
にあらわれたと、改めて土
壌改良の大切さをしみじみ
と感じながら、猛暑の中を
懸命に生きる植物が愛しく
思えた今夏の様子でした。

◆プロフィール

1933年 富山県生まれ。京都外国語短期大学卒。1951～1991
年京都大学農学部附属演習林文部技官。この間、故上田弘一
郎京大名誉教授の研究を手伝う。1986年九州大学農学博士。
1992～2002年(隔年)高知大学農学部非常勤講師。1993年以降
林野庁の特用林産ビジョン検討委員会委員など竹・タケノコ
関連事業委員を歴任。元国際協力機構(JICA)専門家(1970～
72年タイ、1994、95、97年インドネシア、1996年チリ)。現在、竹
文化振興協会専門員、京都市洛西竹林公園専門員。

特集 竹はポピュラー、なれど不思議な植物 ⑬ 『竹取物語』の世界とは？その竹は？

渡 邊 政 俊



『今は昔、竹取の翁という者ありけり。野山にまじりて、竹を取りつつ、よろづの事につかひけり。名をばさぬきの造となむいひける。』で始まる竹取物語は日本最古の小説として有名である。この小説の原本は難解だが、現代語訳（田辺聖子^①）は何度読んでも面白い。絶世の美女「かぐや姫」に5人の貴公子、さらに御門まで求婚するが、いずれも失敗。そして満月の夜、「かぐや姫」は昇天してしまうという筋書きは、超テレビドラマ的で面白い。

さて、この竹取物語が何時、誰の作なのか定説がなかったが、平成13(2001)年9月7日の京都新聞に、龍谷大学糸井道浩教授が『かぐや姫と道真』と題する連載記事を発表された。糸井教授は数々の史実を検証の上、竹取物語の作者は「菅原道真、との仮説を発表されたのである。菅原道真(845-903)は平安時代初期の人物であるが、学問の神様として今も崇拜されるお方である。

作者が菅原道真であるなら、この作品は西暦800年代後半の作と推察できる。そして、物語では「翁が野山に入って竹を伐り、色々なことに使っていた」と書かれていることから、当時はもとより、奈良時代、いやもっと古い時代から竹が色々なに使われていたであろうと推察したい。

筋書きは、とても貧しい生活をしていた竹取の翁がかぐや姫を見付けてから、竹を伐る度に黄金が入っていて、たちまち長者になっていく。一方、かぐや姫の美しさは「家の内は暗き処なく光満ちたり」と表現されるほど光り輝く美しさであった。そのため、「色好みといはるるかぎり」と極め付けの形容詞で酷評される5人の貴公子が求婚してくるが、この5人はいずれも日本書紀(720年)に出ている実在の高貴な人物とのことであるから驚く(沖浦和光^②)。そして、時の御門まで求婚するが、かぐや姫「御門の召して宣給はむこと、かしこしと思はず」と、もったいない求婚すら門前払いである。ところが8月15日の満月の夜、「私は人間世界の者ではなく、月の世界の者」と打ち明け、翁と悲しい別れを告げて月に旅立つという物語である。

この内容から、当時の世相を読み取ることができる。すなわち、飛鳥・奈良時代に確立された強大なピラミッド型集中権力が平安時代に継承され、それが底辺の人々を虐げ、苦しめていたことを厳しく批判しているのであろう。したがって、物語ではかぐや姫を「世直し請負人」に見立て、貧しい暮らしを強いられていた竹取の翁をモデルに、富と権力の座にあった実在の人物を登場させ、当時の社会構造を強烈に批判し、フィナーレで「かぐや姫は



写真 左：ハチク林 右：マダケ林

この世の人ではなかったんだ」との「オチ」で締められた小説なのである。

もともと、九州南部の隼人民族は竹にかかわる海洋民族で、彼らは南洋諸島の竹細工技術を身に付け、たどり着いて土着民となった(川越政則^③)。彼らは強大な畿内政権に頑固なまでに抵抗したが、ついに破れ、ある隼人は畿内に連れて来られて竹器を作らされ、献上させられたという^②。すると、竹取の翁のモデルはもしかして虐げられ、貧しく苦しい暮らしをしていた人達かも知れない。

一方、この小説の中で興味をそそるのは、『3寸ばかりなる人いと美しうてゐたり。』という文章である。古代人は竹の空洞には呪力、霊力が潜んでいるとの信仰心を抱いていたとの説もあることから、かぐや姫が竹の筒から生まれたとの発想に繋がっているのではなかろうか。また、『3月ばかりになるほどに、よきほどなる人になりぬれば、…』は、かぐや姫がたった3ヶ月で光り輝く美女に成長したという意味であり、作者は竹が「ほぼ3ヶ月で成長を完成する」という竹の生態を知っていたからこそかぐや姫の成長に結び付けたのではなかろうか。そう推察すると、作者「菅原道真公の洞察力、は流石であり、頭の下がる思いがするのである。

ところで、竹取物語に出てくる竹は一体どのような竹なのか？ 普通、かぐや姫はモウソウチクのような太い竹の中から生まれたように描かれる(図)。しかし、物語では『三寸ばかりなる人』と書かれているから、今流でいえば、姫の身長は10センチにも満たない高さである。すると、直径18センチにもなる大型のモウソウチクの節間に身の丈10センチにもならない女の子がちょこんと居たとしたら、何とも冴えないイメージであり、実際、平安時代にはまだモウソウチクは渡来していなかった。すると、かぐや姫が生まれた竹はそう太くない竹、たとえばハチクとかマダケ(写真)ではなかろうか。こうした見方で竹取物語を読むと、この物語には古代から平安時代に至る社会構造が何となく見えてきて、益々興味が湧くのである。



図 イラスト「かぐや姫の誕生」竹文化振興協会提供

引用文献

- (1) 田辺聖子(1987) 竹取物語 伊勢物語、集英社文庫
- (2) 沖浦和光(1991) 竹の民俗誌 一日本文化の深層を探る一、岩波新書
- (3) 川越政則(1991) 「薩摩の文化と竹」竹42号 日本の竹を守る会

素描挿話。

～すてきな花達に魅せられて

① リンドウ

小岩井農牧(株) (岩手県)
たるさわ ただし
足澤 匡

歳をとると、昔話が多くなると言いますが、今から30年くらい前の話になります。小岩井農牧株式会社に入社して、ある程度仕事が落ち着いてきた頃、草本類、特に岩手県内に自生する山野草を知りたくて、「岩手植物の会」に入会しました。月に一度、「例会」と称して、県内に咲いている花達を求め、観察会を開催していましたが、その中で私は、植物のスケッチを描くことにしたのです。始めのうちは時間が無く描けませんでしたが、短時間でもその植物に直面し、観察するコツをつかみ、だんだんに速く描けるようになりました。さらに、その場の空気感まで描き込むことで、その植物の印象が強く残るようになりました。

このスケッチは、15年前の秋に描いた「リンドウ *Gentiana scabra* var. *buergeri*」ですが、淡く優しい色合いに感動したことを覚えています。折り紙の様に重なった部分の色合いを描くのには手が震えることも…。ちなみに、リンドウの語源は漢方薬の「竜胆(りゅうたん)」が「りんどう」に変わった? らしいのですが…、特に根が、胃薬の「熊の胆(くまのい)」より苦いことから名付けられたそうです。

私は美しい花が咲いていると、スケッチブックやカメラに納めたくになります。その花が、特にお気に入りだった場合には、その衝動を抑えられなくなったりします。皆さんには、そんな経験はありませんか? 私は幼い頃から絵を描くのが好きだったので、頭の中にあるスケッチブックを広げ、構図を考えたりしているのです。

今まで描き貯めたスケッチから、「素描挿話。～すてきな花達に魅せられて」という題名で「すてきな花達」をご紹介する機会をいただきましたので、ご覧ください。



また、リンドウの仲間は、岩手県にリンドウの他、エゾリンドウ、オヤマリンドウ、など数種類ありますが、このスケッチのリンドウは、「リンドウ」。植物の先生が、「何も付かない、ただのリンドウです。」と説明すると、生徒が「タダノリンドウ」とメモする、という笑い話があります。サクラ類やヤナギ類には、「サクラ」や「ヤナギ」は無いのに、スミレ類やリンドウの仲間には、正式名として「スミレ」、「リンドウ」はあるのです。また、アジサイ類にも「アジサイ」がありますが、なぜか「本アジサイ」と区別して呼びますね。「本スミレ」、「本リンドウ」とは呼ばないのはどうしてなのでしょう。植物は、本当にわからないことばかりで、面白いです。だから、楽しいです。

特集 コデマリとその仲間

春の庭園を飾る代表的な花木の一つにシモツケ属の樹木があります。落葉低木で中でもユキヤナギやコデマリ、開花期は少し遅くなりますがシモツケなどが良く知られ、親しまれています。これらの花木を開花期から見てみると、2月の中頃からユキヤナギがちらほらと咲き出し、春本番になるとコデマリが、そして梅雨前にはシモツケの花が咲きます。

春一番に咲き出すユキヤナギやシジミバナは前年枝に花を直接つけるため、枯れ枝に花がついたようで少し寂しく感じられます。その点、春本番の頃に花をつけるコデマリやイブキシモツケ、イワガサ、トサシモツケなどは、前年枝から伸びた短い今年枝の先に白い花の塊(散房花序)をつけ、その枝には葉がついているので、みどりの葉をバックに花をつけるので、春の到来を実感できます。また遅く咲くシモツケは、普通、花の塊がいくつか集まった複散房花序となり、紅紫色の花をつけるので、早く咲く仲間とは違った美しさが楽しめます。今回は春本番の頃に花をつけるコデマリの仲間について書かせていただきます。

代表種としてのコデマリ(*Spiraea cantoniensis*)は、20～30個程度の小さな花が集まって手毬状に花開くことから、小さな手毬(小手毬:こでまり)の名前がついたものです。ほぼ時を同じくして花開くイブキシモツケ(*Spiraea nervosa*)やイワガサ(*Spiraea blumei*)、トサシモツケ(*Spiraea nipponica* var. *tosaensis*)も、同様な小手毬型の花をつけ、遠目にはほとんど区別がつかないといつてよいくらい良く似ています。コデマリは学名からも分かるように中国産ですが、ほかの3種はいずれも日本の自生種です。



コデマリ もっとも普通に見られる 横浜

これらの種類は近くに寄って花の一つ一つを觀賞するのではなく、緩く垂れた細い枝に丸い花の塊が連なってついた姿を、やや離れたところから觀賞するのが一般的であり、花の下についた葉の形で種類を見分けるようなことはしないので、すべてコデマリの名前です。現にいくつかの公園や住宅周りの植栽では、コデマリの寄せ植えの中にトサシモツケが混じっていたり、イブキシモツケやトサシモツケにコデマリの樹名札がついていたりするのを時折り見かけます。なお、イワガサはほかの3種に比べ植栽されていることは少ないようです。

コデマリは良く植えられているので見る機会が多いと思いますが、他の3種は植えられていることが少ないので、見たことがない方が多いかもしれません。植栽されている姿を見てみたい方は、4月の半ばから5月の連休の頃に日比谷公園に行かれて、祝田門から入ったところや雲形池の周りなどを散策すると、これらの花を見ることができます(ただし樹名札はついていません)。ほかには向島百花園でイブキシモツケやイワガサが見られます。

種類について掘り下げると、イブキシモツケには変種扱いでホソバノイブキシモツケ(*Spiraea nervosa* var. *angustifolia*)という種類があります。図鑑には『果皮に軟毛(粗毛としているものもあり)があるものと呼んでいるが、軟毛の密度に中間型があり区別できない』と記載されています。しかし、牧野新日本植物図鑑(榊北隆館)では、これをトウシモツケと呼んで、イブキシモツケとほぼ同じ地域に分布していて『唐下野の意で中国から入ったという誤認に基づく』としています。そこで中国有用植物図鑑(榊川書店)を見てみると、トウシモツケ(*Spiraea chinensis*)の記載があり、中国に広く分布し『海拔500～2,000mの地域の山地斜面の低木群落中・山の谷間にある溪流のほとり・原野や畑や道端に生育する』と記載されており、脚注に『本州近畿・四国・九州に分布し、ホソバノイブキシモツケとも呼ぶ』と逆の記載となっています。学名は(*Spiraea nervosa* var. *angustifolia*)と同じです。私は自宅で大分県産のイブ

株式会社 アスコット
若 林 芳 樹

キシモツケを栽培していますが、葉の形を見る限り、日比谷公園や向島百花園に植えられているホソバノイブキシモツケと思われる株の葉と雰囲気の違いが違います(写真参照)。

日本に自生するホソバノイブキシモツケは見えていませんし、牧野博士の考えに異を唱えるつもりはありませんが、日比谷公園などに植えられているイブキシモツケは中国から入ってきたホソバノイブキシモツケすなわちトウシモツケではないかと思っています。

その根拠は、いくつかの図鑑を見てみましたがイワガサやトサシモツケは用途として、『庭木として植えられる』という記載がありますが、イブキシモツケにはその記述がありません(庭木として植えられていないということ?)。また、植栽されている場所を見ると、日比谷公園や向島百花園など歴史のある古い庭園で多く見られることなどから、日本で庭木として植えられているイブキシモツケは日本に自生する種類ではなく、中国から入ってきたホソバノイブキシモツケの可能性があるように感じられます。

日本でイブキシモツケやイワガサ、トサシモツケがコデマリと一緒にされているように、古い時代に中国からコデマリと一緒に入ってきた、あるいはその後に入ってきて、コデマリと区別されずに植えられたとは考えられないでしょう。

この疑問を解くには、日本に自生するイブキシモツケ、ホソバノイブキシモツケと日比谷公園などに植栽されているホソバノイブキシモツケと思われる株を比較すればわかるのかもしれませんが、日比谷公園や向島百花園などに植えられていることから、イブキシモツケを含め、これら4種の生産状況の現状はどうなのか興味のある所です。現在、生産があるのはたぶんコデマリだけでほかの3種はほとんどないと思いますが、本稿を読まれた方で生産している方がいらっしゃればご一報ください。生産状況や種類の区分や名前(呼び名)などについてお話を伺いたいと思っています。

参考文献 学名ほか:山溪ハンディ図鑑3 樹に咲く花 離弁花① 山と溪谷社
解説ほか:日本の野生植物 木本Ⅰ 平凡社



イブキシモツケの葉 大分県産(自宅栽培品)



ホソバノイブキシモツケと思われる株 日比谷公園



イワガサ 葉は薄く幅広 日比谷公園

トサシモツケ 葉は細く花数少ない
日比谷公園

連載「里山植物と景観」

第7回 都市と里山

東京農業大学名誉教授 中村 幸人



◆プロフィール 中村 幸人(なかむら ゆきと)
1952(昭和27)年3月 東京農業大学名誉教授(博士 理学)
専門: 植生学、植物地理学、景観生態学
神奈川県鳥獣総合対策協議会委員、神奈川県公共事業評価
審査会委員、国際植生学会群集命名規約委員会委員 他
横浜国立大学助手、作新学院大学教授を経て平成14年より東
京農業大学教授

これまで里山の植物を見ながら人と自然の関わりについてお話をしてきました。その心象を膨らませていくと里山の姿が見えてきます。つい、唱歌を口ずさみたくなります。「うさぎ追いかの山、小鮒釣りし、かの川…」自然豊かな里山があり、幸せな日々の暮らしを懐かしむ歌ですね。戦後、日本人は物の豊かさを追って頑張ってきたと思います。三種の神器とも呼ばれた冷蔵庫、洗濯機、白黒テレビに象徴されるように物が人を幸せにしてくれると信じてきた時代、それが昭和でした。製造業が勃興し、多くの人は働き手として都会に住み、団地がたくさんできて、急速に都市化が進んだのです。田中角栄が列島改造を政策に取り入れてピークを迎え、それはバブル期まで続いたように思えます。都市化は田舎を侵食していましたが、田舎の農業も生産性や作業効率が求められるようになりました。日本では長く続いてきた田舎の風景が明治時代から一変していきました。

都市化、近代化によって里山から消えたものは二つあります。一つは宅地や商・工業施設、道路の造成によって地形が変わられ、コンクリートが増えて身近な里山の自然が消えていきました。クヌギ・コナラの雑木林、土手や畦の草地、小川沿いの湿った草地、池沼の湿原などが消えたのです。造成されたコンクリートの隙間にブタクサ、ワルナスビ、ウラボシチコグサ、ハルジオン、アレチノギク、ナガミヒナゲシなどの1年生から越年生の帰化植物が都会雑草として生育するようになりました。

どうも帰化植物の繁茂する量と人為的攪乱の頻度は比例するようで、私は以下のように捉えています。生物的自然は長い歴史の中で形作られてきました。植物が地上に現れて4億5千万年経ちますが、進化を続けて今日の姿になっています。とくに気候変動のような大きな環境の変化が起爆剤となって生物の絶滅とその後に多様な種を生み出しています。

今の生物社会は少なくとも今の気候に近い6千年前には形づくられていて、



里山の原風景を残す冬季の舞岡公園（横浜市戸塚区2010年2月14日）



帰化植物が都会の植え込みに見られる（横浜市港南区2020年10月1日）

ブナ林やスダジイ林にはそれぞれの植物社会に固有な動物、微生物などが暮らしていました。生物には植物、動物、微生物がありますが、密接に関係しあって共同体を形成し、環境の変化に対応してきました。生物の基本的な仕事は植物が太陽の光エネルギーを利用して有機物を生産し、動物がそれを消費して、微生物が最後に分解するというチームワークです。つまり生物は物質を循環させる仕事を担っていて、生物と環境の間の物質とエネルギーのやり取り、すなわち生態系を安定した状態に保つことに貢献しています。すべての生物には生態系の中に自分の持ち場があり、仕事を持たない種は存在できないのです。

よそ者である外来種が入り込む余地はないのですが、一時的な攪乱により生態系に乱れが生じると、間隙を縫って一時的によそ者が生活できるチャンスが生まれてしまうというわけです。それが都会という人為的攪乱の多い場所なのです。

里山から消えた二つ目は里山そのものの生物多様性の貧化です。農業の近代化は工業と同じ考え方で生産性と効率を求めてきました。日本の農地を耕地整理によって区画を大きくして機械を導入しやすくし、化学肥料や農薬を積極的に使用していきました。その結果、農地の生態系を支える土手や畦が少なくなり、また、そこで生活していた多くの生物が消えていきました。その結果、生態系が機能して天敵が害虫を捕食して駆除するという天敵防除の効果が薄れていきました。

1990年頃に中国を訪れたとき、大都市、上海近郊の水田は日本と同じように生物がいまませんでした。しかし、化学肥料も農薬も買えない貧しい田舎に行くと、わずか4㎡の水田の区画内に様々な生物が満ち溢れていて、昔の日本も多分、こうだったのだろうなと感慨深かったのを思い出します。これからの日本が環境を維持しながら豊かな社会を再構築していくには里山に学ぶべきことがたくさんあるような気がします。7回続いた「里山植物と景観」からその豊かさを実感してもらえると幸いです。



①イイジュ株立 H400



②ヒメユズリハ株立 H400



③シマトネリコ H1000



④ナナミノキ株立 H500



⑤ウラボシチコグサ株立 H700



⑥タブノキ H800



⑦アラカシ H800



⑧オガタマノ H500



⑨アラカシ株立 H1000

シリーズ

TEA TIME



悲喜こもごも

本 釜 清 文 (有豊南開発(鹿児島県)
(日本列島植物園登録社園)
☎0994-31-2222

3年前、我が社で生産した樹木を訪ねて首都圏を歩いた。立派に根付きメンテナンスも行き届き成長したわが子(樹)に感動した。仕事の足跡が都会に残り「良い仕事を選んだ」と思った。

喜びも束の間。さて、オフィスビル、タワーマンション等新築が止まったら飯が喰えなくなる。更新需要はあまりに長期になるかも。

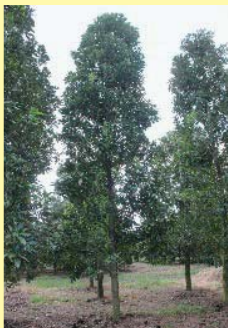
行方はいかに? 「いつか買い手が来る」を信じて、今日も仕立て樹(自然形)作りは前進あるのみ。



⑩ブラシノキ株立 H300



⑪ニッケイ H700



⑫マテバシイ H750



⑬クロガネモチ H800



⑭クスノキ H800



⑮ホルトノキ H600



⑯シロダモ株立 H300



⑰クロガネモチ株立 H600



⑱クスノキ株立 H700



⑲ウラボシチコグサ H600

お知らせ

上原和直氏(有)上原樹苗(福島県)
が農林水産祭天皇杯の林産部門
で受賞

天皇杯は、過去1年間の農林水産祭参加表彰行事(273件)において、農林水産大臣賞を受賞した465点の中から各部門の7名に授与されるものです。上原和直氏(有)上原樹苗(福島県)は、その中の林産部門で授与されます。表彰は、11月23日(月)に明治神宮会館で開催する農林水産祭式典において行われます。

会 員 動 向

協会退会

- ▷(有)白木稚光園(熊本県)
- ▷農事組合法人東城園グリーンテック(千葉県)
- ▷(株)鈴木農園(神奈川県)

代表者変更

- ▷新 加藤洋巳(有)辰巳園(鳥取県)
- ▷新 須崎剛史(有)須崎樹苗(東京都)

住所・TEL 変更

- ▷北日本営与(株)
〒013-0105 秋田県横手市平鹿町浅舞字間兵衛野7-1
TEL0182-24-2328

訃 報

- ▷齋藤誠子 様(齋藤 悟氏のご母堂様)
(株)齋藤造園(山形県)
令和2年8月25日没
享年88歳
- ▷若生由三 様(若生 武氏のご尊父様)
(株)若生商店
令和2年9月4日没
享年91歳
- ▷石井まつ子 様(石井栄寿氏のご母堂様)
石井農園(埼玉県)
令和2年10月17日没
享年87歳



YouTube 始めませんか？

内田義一 内田養樹園(鹿児島県)

YouTube 始めました

鹿児島県支部の内田養樹園 内田義一です。家族経営でナナミノキ株立などの常緑樹生産者です。2020年2月にYouTubeチャンネル「いずみの植木屋さん」を開設して、仕事の風景などの動画を公開しています。

「YOUTUBERに俺はなる!」と家族に冗談混じりで話している時、自分の頭の中には、樹木生産の風景を映像にまとめて、YouTubeに公開できれば結構レアな映像になるんじゃない?と成功の予感を持っていました。生産することが大変だということが伝われば、樹木生産者の地位向上にちょっとだけ貢献できるかもしれない...そう考えていたのです。

どうやって始めたの?

そうは言っても、どうやって始めるん?と調べながら、まずパソコンとアクションカメラを買いました(格好から入るタイプ)撮って、動画にまとめて、チャンネルにアップロードしてみようということをやってみながら勉強していきましました(基本ネット検索で全部わかります)YouTubeにチャンネルを作ったり動画をあげることはタダで出来るようです。しかし、作った動画をたくさんの人にみてもらうためには、チャンネル登録者数を増やさないとどうもいけないようです。そしてチャンネル登録者数を増やすためには魅力的なチャンネルである必要があったのです(あたりまえです)さらに、この数は、広告収入発生のボーダーラインの指標ともなっています。1,000人。これを超えない限りYouTuberとは言えないらしい。友達1000人なんていない!もともと根暗な性格で友達も少ないのに。始めたからには、ちょっと頑張りたいかならないですか。すでに20万以上も投資しているし、やめられないし(笑)



大切なこと...

九州の植木屋でYouTube 界隈では「やっちゃんTV【植木屋BASE】」大阿蘇造園の後藤くんが緑化通信8月号で紹介されたのをご覧になったでしょうか。植木の仕事をエンタメ化することをテーマにしている点がすごく共感できます。

樹木生産という職業は世間的には、知名度ゼロ。農業と建設業のはざま、園芸と造園業の間の職業で、その仕事内容は当事者以外には未知の領域です。うちの妻だって私がどんな仕事をしているのか知り得ていないんですから当たり前ですね。世間の人たちは樹木がどこでどう生産されているかなんて知らないわけです。いろんな人に生産者が作った動画をみてもらうことで、生産物の価値を高めることもできるかもって思いませんか?もっとたくさんの方が動画配信をするようになることで、生産者の世界が世に知れ渡ってくる時代がくるのかも。

自分はもともと趣味で映像編集をしていたのですんなり入れたけど、やってみてわかったことは、本業を疎かにすることなく動画配信を続けていくことはとても難しく、根気のいる作業だということ。続けるってところが難しい。

植木生産も長い時間が必要な根気のいる職業です。ひとつひとつの作業を大切にこなし、いい生産物を作って行けるようにこれからも精進しようとおもっています。皆さんもまずはYouTubeをみることから始めてみませんか。好きなチャンネルをばんばん応援してあげましょう。そして自分でもやってみたいと思った時がYouTuberになる時です。スマホだけでも出来ちゃう時代ですか



7m×2mの巨大プールの作り方(お子さんも大喜びでしょうね)

らね。九州の「やっちゃんTV」と「いずみの植木屋さん」応援よろしくです。



やっちゃんTV



いずみの植木屋さん

動画作成環境の紹介

パソコンカメラ以外は、全て無料ソフト、アプリを使用しています。アクションカメラ GoPro 8 アクセサリ他.6万。データ保存用に外付け HD を1台で1万円くらい。パソコン17万。

パソコン: MacbookPro13in2019 1.7 GHz クアッドコア Intel Core i7

使用ソフト: iMovie(無料), DaVinci Resolve16(無料版), GIMP: 写真編集ソフト(無料), Photoshop Mix (iPhone アプリ無料), Perfect Image (iPhone アプリ無料) カメラ GoPro 8 BLACK, iPhone 8